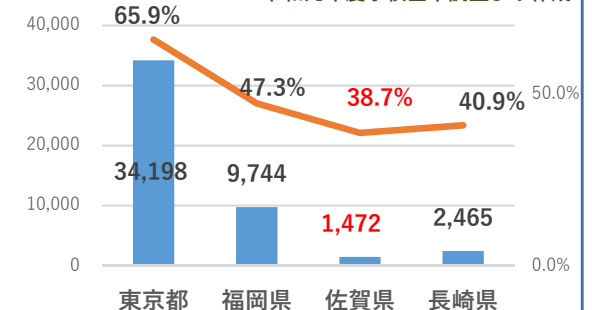




目的

- 全国と比し女子生徒の大学・大学院進学率が低い九州地区において、科学への興味を促し、理系進路選択の可能性を学ぶ場を提供する。
- 女子中高生のそれぞれの立場（①中学生、②文理選択前の高校生 ③理系進路を決定した高校生）及び保護者・教員を対象としたプログラムを展開する。
- 県の基幹大学としての特徴を最大限生かしながら、「横断的」、「継続型」、「体験型」を意識した女子中高生の理系進路選択ための中高大連携接続モデルを追求する。

◆女子高校生の4年生大学進学者・進学率◆
 令和元年度学校基本調査より作成



事業概要

企画1：大学教員による専門講義又は研究室見学



理系進路を決定した高校生対象

- ・高大連携プロジェクト「とびらシリーズ」
- ・科学の甲子園佐賀県大会 を発展

企画4：地元先端技術企業による現場体験会



中学生対象

- ・工場・研究施設・建設現場等の見学会
- ・女性技術者との交流会

企画2：中学・高校訪問での講義又は実験体験会



文理選択前の高校生又は中学生対象

- ・中学・高校の要望に応じた企画
- ・離島、過疎化地域への積極的訪問
- ・大学院生、大学生との座談会

企画5：地域開放型実験体験会



文理選択前の高校生又は中学生
 保護者対象

- ・地域施設を利用した実験体験会
- ・地域住民の意識の醸成も目的

企画3：理系女性による講演会



中高生・保護者対象

- ・人材育成に知見のある理系女性による講演会



企画6：ロールモデル集の発行



中学・高校へ配布

- ・女性研究者・理系学部大学生、卒業生をロールモデルとして紹介

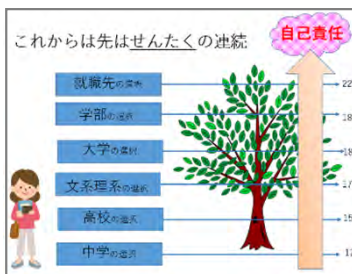


特徴的な取組

中学生へのアプローチ

1. 文理選択についての講義

正しい文理選択について説明し、理系進路後の職業紹介も行う



講義スライドの抜粋

2. 企業訪問、実験体験会

能動的学習の場を積極的に提供し、技術者や研究者の職業観を体感させる



造船所見学ツアー



手術体験をする女子中学生

保護者・教員対象の取組

1. 保護者への進路選択支援講座

イベントに引率し、保護者に大学教員等から情報提供を行う



保護者のための男女共同参画入門講義

2. 教員向けの情報提供

校長会や教員免許講習会等の既存の集会を活用し、進路選択支援に関する理解を深める講演を行う



佐賀県高等学校校長会での講演



講義スライドの抜粋

コロナ禍における新たな取組

1. SNSの利用

オンライン（主にYouTube）で情報を配信



ロールモデル動画

有田町STEAM教育シンポジウム

さらなる教育へ、これからの有田の教育とは？

2021年3月21日(日) 9:30~

オンライン (https://youtu.be/RajmZT0ZM)



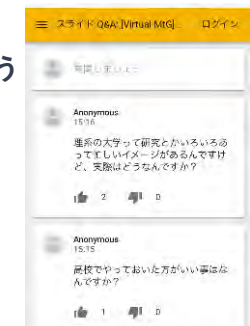
オンラインシンポジウム

2. オンラインでの企業見学会

首都圏技術企業と地元高校をつなぎ、会社見学会を行う



講義の様子



スマートフォンからの質疑

成果

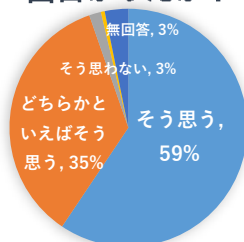
参加人数

(平成30～令和2年の3年間)

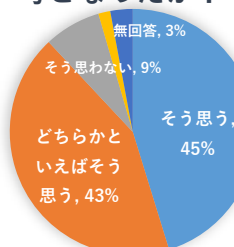
女子中学生	女子高校生	保護者	教員	合計
548人	1,074人	260人	232人	2,114人

生徒アンケート結果 (抜粋)

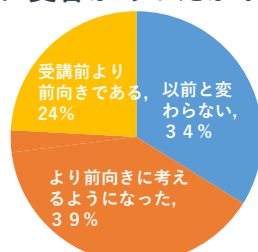
1. 取組の内容は面白かったか？



2. 進路選択の参考となったか？



3. 理系進路進学への考えに変容があったか？



⇒進路選択の参考となり、理系進路進学を促す取組ができた。

総括・課題

○佐賀大学ではH30年度より本支援を受け、中高大接続の一環として、女子生徒への理系進路選択支援を行っている。

○中学生には体験型、高校生には専門性の高い講義、教職員には男女共同参画の視点をより重点的に行うなど、対象に応じたプログラムを構築している。

○今後も、周辺大学、教育委員会や自治体、企業等と連携を取りながら、地方大学発の「リケジョ支援モデル」を水平展開していく。